

第8回 学校運営協議会 議事録

令和6年2月8日（金）18:30 図工室

○出席者確認（敬称略）

【学校運営協議会】

村上 智之	岡本 則子	森 雅順 欠	津野 幸春 欠	吉田 健一 欠
岡本 美子	大崎 弘和	寺川 典男	武田 貴彦	竹内 恒陽
宮崎 富巳	中越 あかね	下村 富彦		

【アドバイザー】

内田 純一	門田 雅人
-------	-------

1. 会長挨拶:村上智之氏

- ・地震避難について、学校の避難所としての在り方を見直さなくてはならないと思う。
- ・今後、県や市レベルでも考えてもらわなければならない。

2. ツリーハウスの修理について

- ・中平健一さんに協力してもらって実施する。
- ・渡り廊下の修繕は不可能。今回は、本体を修繕する予定。
- ・県が20万円の補助を出してくれる。追加もOK。



2月23日（金）に修理を行うので、出られる人の参加をお願いしたい。

3. 給食試食会 2月16日(金)12:10~12:40（村上智之さん、竹内恒陽さん）

食べ終わったら作品展の準備の手伝いをお願いします。

シイタケの菌打ちのための穴もあけてくださいます。

ドリル4ヶあり。インパクトドライバーを持っている人は持参してほしい。

4. 山と川の学習・ほのぼの作品展(2月17日 土)について

8:40~ 8:50	開会行事（児童玄関）
8:50~ 9:50	シイタケの菌打ち
10:00~11:40	巣箱の観察とカメラ回収に学校林へ 講師:谷地森秀二さん
11:50~12:30	昼食（おにぎり・豚汁）
12:30~13:20	作品展の鑑賞、地域の方の出店を見る
13:20~14:10	巣箱付近の様子をカメラで観察 講師:谷地森秀二さん
14:10~15:00	河原の清掃活動、バイカオウレンの花植え 講師:武田茂男さん
15:20~	閉会式
15:30~15:50	バザー、片づけ 児童下校は16:00

- ・バイカオウレンは昨年度植えたのは育たなかった。R5 年度はもっと日陰に植えたい。

5. 総括

【こいのぼり】

不織布の色塗り・・・岡本美子さん、野島ともえさんの協力でできた。

子どもたちも色塗りした（名前を記入している）

こいのぼりの白塗り 3月26日の午前

参加できる人（村上智之、大崎弘和）

6. 来年度に向けて

こいのぼりの着色予定 4月11日（木）、12日（金） 午後予定

こいのぼりの設置予定 4月20日（土）・・・参観日予定

こいのぼり撤去予定 5月18日（土）・・・参観日予定

【アユ釣り、カヌー教室】・・・7月20日（土）

【夏祭り】・・・7月27日（土）

【運動会】・・・9月21日（土）

【収穫祭・山と川の学習】・・・11月16日（土）

【ほのぼの作品展・山と川の学習】・・・2月15日（土）

7. 学校施設改善要望書に対する教育委員会からの回答について・・・別紙

（1）プレハブ教室設置について

- ・避難所としての活用を見据えた要望であることを理解した。
- ・避難所としての活用については、担当課（危機管理課）において常時検討している。

（2）運動場の整備について

- ・自走式草刈り機も活用できるので活用してもらいたい。
- ・一部作業の民間委託の予算化を検討する。

（3）遊具の設置について

- ・安全点検の結果をもとに、計画的に実施している。
- ・ツリーハウスは設置者等と協議のうえ、修繕等の管理方法を検討したい。
- ・観光と合わせて利用する場合は、担当課（にぎわい創出課）と連携しながら検討する。

（4）ソーラー設備、夜間照明設備の設置について

- ・災害対応の担当課（危機管理課）に今後の対応を確認したところ、令和4年度までに発電機や投光器などの備品を整備しているとのこと。ソーラー整備や蓄電池は発電コストや電力の安定供給の課題があるため整備予定はない。
- ・避難所用として屋内外で使用可能な投光器や発電機を整備しているので、使用する場合には危機管理課に問い合わせてもらいたい。

（5）教室前のスペースの土入れ又はコンクリート舗装

- ・アスファルト舗装も含め、検討している。

（6）校門の撤去と設置・・・これは既に設置済み。

（7）洋式トイレの設置について

- ・米奥小学校は令和7年度に設計、令和8年度に工事の予定。

(8) その他の要望について

- ・令和6年度後半に農家住宅（3戸）を募集開始予定。
- ・令和7年度後半には、一般住宅分（3戸）を予定している。

【村上会長より】…資料3枚

①和歌山県高野山の小学校の例

児童数ゼロだったが、移住者が入り1人の児童が入るということで、学校再開した。
そして4年間で8人になった。中学校も復活した。

②岐阜県山県市

小中学校12校をどんなに小さな学校も残しますと決めた。

存続を限定して、近くの学校と合同授業をしている。

山県市は統合しないという前提で、小規模校の在り方を考えている。

アンケートを、県のHPで公表した。結果、半々の意見だった。しかし、残すとしてオンラインの活用などで合同授業もしている。

- ・数は少ないが、小さな学校でも注目されている。教育長も町長も「無理な統廃合はしない」と言った。
- ・昨年度,NHKで学童保育の番組があり（千葉県の例）、定員140名を1つの教室で見ていると言っていた。
- ・コミュニティスクールとして地域の人に手伝ってもらい、子どもを分散したり、学校の教室を貸してもらってやっている。これは、米奥がやっていることと同じだ。大人数の方がいいとは言えないと思う。田舎の方が環境が良く、残すべきだと思う。

6. 令和6年度の学校運営協議会のお願い(全9回) 案…詳しい日程は3月の会で

	予定	協議会	応援隊	夏祭り委員	運動会委員	地区長	PTA 関係役員
1	4月	○					
2	6月	○	○	○			
3	7月	○	○	○	○	○	
4	8月	○	○	○	○	○	○
5	9月	○	○		○	○	○
6	10月 要望書	○	○			○	○
7	11月 要望書	○					
8	2月 学校評価	○					
9	3月	○					

7. 学校評価

- ・学校評価アンケートについて報告・・・別紙
- ・学校評価報告書・・・メンバーに学校の評価をして頂いた。

【内田 AD】

- ・評価は数値目標があり、状況がどうかを見ていく。米奥小学校がBとつけているものも、Aになるものがある。A◎くらいの物もある。子どもの力をつけたかどうかだ。子どもの力がついている。小規模校なので、話さなくてはならない場面も多い。Bは1つくらい

で、後はすべて A でもいいくらいだと思う。

※一人一人と向き合い、地域の特色のある学校運営、小規模校ならではの良さが出ていると思うという意見を頂いた。

8. その他

- ・来年度のメンバー・・・基本は2年間の委嘱のため、引き続き同じメンバーである。

津野幸春さん（本人の申し出により別の方に）⇒政岡竜二さん（一斗俵）

生姜農家、夏祭りにも毎年参加
消防や防災にも入る。

役職でついている方は交代

PTA 会長 竹内恒陽さん → 大崎弘和さんに（そのまま委員）

PTA 副会長 宮崎富巳さん → 田村皓哉さんに

PTA 副会長 大崎弘和さん → 竹内恒陽さんに（そのまま委員）

9. アドバイザーより

【内田 AD】

- ・コミュニティスクール校が増えてきたがなかなか上手くいかず、形骸化が進んでいる。
- ・米奥小学校は制度を超えていて、実質化している。
- ・要望書も定着しており、実現しているし、見通しもできている。
- ・「一人増えれば」が実現してきているのではないかな。
- ・今までの米奥の取組がなければこうなっていないと思う。
- ・評価も A◎。子どもたちが育ってきている。大きな学校以上の成果を出している。
- ・小規模校を無下に大規模校化しないように制度も変わってきている。無理やりということではなくてきている。
- ・成果を出している米奥はすごい。

【門田 AD】

- ・ツリーハウスの話の時に、「子どもの参加は？」と聞かれた。これがいい。
- ・アユ釣りとかヌー教室も、夏に行うのが定着してきている。
- ・協議会については、以前区長会で話して、その後要望してきたことが20年経てやっと実現した。教職員もPTAも変わる中、協議会が頑張っていることが大切だ。洋式トイレも1つ実現した。（R4 年度）
- ・今は協議会が地域に提案して実施している。今後は、地域が提案して実施していくようになっていけばいい。そうすることで学校の存在価値が見えてくる。
- ・安和小学校は人々や児童数が増えてきている。だから無理やり統合はしないと市長が言っている。
- ・新聞に載った子どもの作文が良かった。今後もいろいろ考えて進めていかなければいけない。

10. 学校長挨拶

- 今日のお礼。
- R5年度 卒業式 3月22日（金）
子どもたちはマスクなし（希望者はつける）参加者にはマスクと消毒をお願いしたい。
- R6年度 入学式・始業式 4月10日（水）・・・入学者2名（男・女）
次回開催：3月8日（金） 18：30～